

WEL・NET

通信

2013.11

発行日 平成25年 11月1日
発行 西広島リハビリテーション病院
事業局 広報担当
☎ 082-921-3230 (代表)
URL <http://www.welnet.jp>
E-mail wel@welnet.jp

- 日本医療機能評価機構の認定をいただきました！
- 県病院との医療連携ネットワーク開始！
- 特集I：新入職員紹介レポート
- 特集II：看護介護部のご紹介（看護師編）



日本医療機能評価機構の認定をいただきました！

当院は、財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の審査を受け、8月2日に認定をいただきました！

今回認定をいただいたのは、2013年4月から運用開始されたばかりの新評価体系による「病院機能評価（機能種別：リハビリテーション病院）」、そして「付加機能評価（リハビリテーション機能）」です。



病院機能評価受審の様子（2013.5）

西リハ
これまでの
認定履歴

- 1999** 統合版 Ver.3.0 認定
- 2004** 統合版 Ver.4.0 認定
- 2009** 統合版 Ver.5.0 認定
- 2010** リハビリテーション付加機能 Ver.1.0 認定
- 2013** 新評価体系 機能種別「リハ病院」Ver.1.0 認定
付加機能：リハビリテーション機能 Ver.3.0 認定

新評価体系での受審を決めたわけ

当院の基本理念は、「信じ合い、明日を拓く」です。新体系となった病院機能評価を早速受審することに決めたのも、この言葉に込められた「挑戦」の精神からです。また、新評価体系ではプロセス評価に重点が置かれ、より実態に合った審査となるため、受審することで病院の「質向上」も期待できると考えました。

多くの職員が参加、一丸となって準備を！

評価は外部のサーベイヤー（審査員）が行います。限られた時間の中で、当院のシステムを正しく理解していただき、良い部分は最大限に評価していただかなければなりません。効率よく進められるよう、書類や資料を調査項目順に並べ、ポイントを押さえて簡潔に回答できるよう準備しました。また、これまでの機能評価と違い、「ケアプロセス調査」や「カンファレンス調査」では、どうしても現場の一般職員が直接審査されることとなります。終礼で一般職員に病院機能評価についての話をしたり、実際にカンファレンスを行いながら理想的な方法を議論す

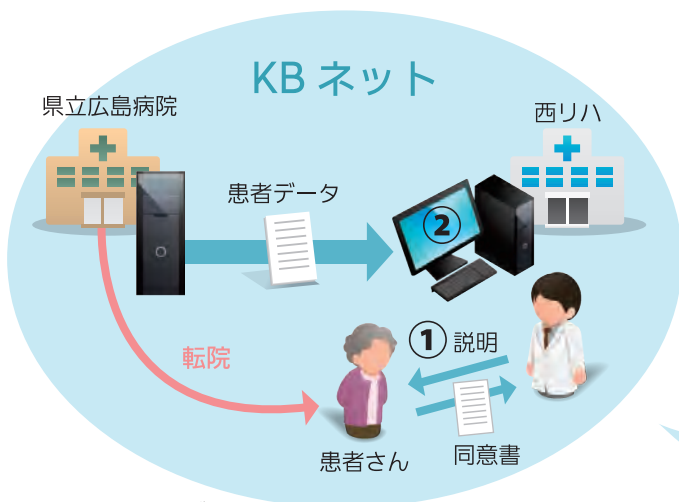
るなど、多くの職員が参加し一丸となって取り組みました。

受審を終えて

今回の受審は、実際の症例やカンファレンスの審査が中心で、現場の職員が主役でした。皆が頑張ってくれたので、審査員からとても高い評価を頂きました。質の高いリハビリ病院とは？ということテーマに皆が知恵を絞ってくれたおかげで、いくつかのシステムがリニューアルできました。とても嬉しかったのは、準備や受審を経験した多くの職員が「勉強になりました」と言ってくれたことです。このように皆が本気で頑張ってくれた分だけ、病院の質が向上したのではないのでしょうか。また現場のチーム力を高め、職員同士の絆を深めるのに良い機会となりました。患者さんからも評価頂けるよう、これからも皆で頑張っていきたいと思えます。



西広島リハビリテーション病院
病院長 岡本 隆嗣



KB ネットイメージ図

当院は2013年9月より、県立広島病院にて運営されている地域医療連携ネットワーク「KB ネット」に参加することになりました。「KB ネット」は、県立広島病院と各医療機関でネットワークを結び、患者さんの診療情報を共有するシステムです。



県立広島病院

- ① 西リハで患者さんに KB ネットについての説明をし、同意をいただいた患者さんにも適用されます。
- ② 西リハの専用パソコンから、県立広島病院の該当患者さんの診療情報が閲覧できるようになります。

県立広島病院 地域連携センター担当者さまに聞く！

KB ネットでどうなる？医療連携

— 西リハは、今年9月にKB ネットに参加させていただくことになりました。現在、他の医療機関はどのくらい参加されているのですか？

10月24日現在で126医療機関にご利用頂いております。まずは診療所の先生方にご案内をさせていただいたので、病院ということでの参加は西リハさんが第1号です。

— 病院間のやりとりがどのように変わるのでしょうか？

西リハの先生方に、患者さんの診療情報をリアルタイムでご確認いただけますので、迅速に治療に役立てていただけるようになると思います。言葉での確認の際も、KB ネットで同じ電子カルテを見ながらやりとりができるので、これまで以上に患者さんの状態をイメージしていただきやすくなると思います。

KB ネット利用場面(西リハ)



— 患者さんにとってはどんなメリットがあるのでしょうか？

病院間で患者さんの診療情報をきめ細かく共有することが可能となりますので、より質の高い安全な医療を、それぞれの医療機関で受けていただくことができるという

メリットがあると思います。たとえば、患者さんが県病院で受けた説明を転院先の西リハの先生にうまく伝えられない、という場合にも、患者さんの説明プラス KB ネットの情報を使っていただくことで、より手厚い情報共有につながるのではないかと思います。

— 利用されている医療機関の先生方からの感想などは聞かれていますか？

患者さんが病院では遠慮して聞けなかったことを、かかりつけの先生には気安く聞いてもらえることがあるようなんです。そういう時に、かかりつけの先生が KB ネットでカルテを見ながら、それはこういうことですねと、かみくだいて説明することができるなど、患者さんやご家族にとっても理解が進むようなツールとしても利用していただいているようです。

— 最後に、西リハにメッセージをお願いします！

これまでも、リハビリテーション目的で転院される患者さんをたくさんサポートしていただいております。回復期リハビリテーションだけではなく、地域に向けてのリハビリなど、幅広いご相談に応じていただいております。これからも、引き続きよろしくお願いいたします。

— こちらこそ、よろしくお願い致します。このたびはインタビューへのご協力、ありがとうございました！



吉井 美香子 様

県立広島病院
地域連携センター
梶原 敏臣 様



新登場したサービスや、引き続き好評中のサービスをご紹介します！

ラジオ体操

2013.5 ~ 新登場！

西 2 階のデイルームで、病棟の患者さんを対象にラジオ体操を行っています。伴奏は音楽療法士による生演奏で、その日の参加者に合わせて速度を調整し皆さんが楽しんで体を動かしていただけるようにしています。

ラジオ体操の後には「今日の一曲」。季節の歌や患者さんからのリクエスト曲を、みんなで歌います。

リクエスト曲
募集中です♪音楽療法士
徳光みなみ

service information

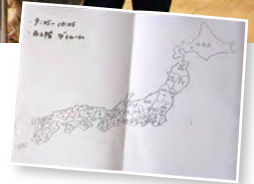
実施日時 音楽療法士出勤日の 9:45 ~ 10:05

対象者 病棟に入院中の患者さん（希望者）



▲デイルームに懐かしい音楽が流れます！

出席カードは、1回の参加で好きな都道府県を1スタンプ。いっぱいになるとCDをプレゼント！



懐かしい

気持ちが良い

家族やみんなと
一緒に嬉しい

利用者さんの声

今日の一曲を歌うのを
楽しみにしている退院後も続けて
いきたいです

平成 25 年 5 月 ~ 10 月に実施した地域リハビリ研修会です！

新しい
マットレスができました！

9月24日

パラマウントベッド株式会社・株式会社モルテン

対象者：在宅介護に関わる職種の方

受講者数：32名

場所：株式会社リョーキ 介護本店



触り心地を実際に確認！▶

参加者の声

- マット圧が変化したり、リハビリ介助がしやすいようにサイドは硬くなっていたりと、様々な工夫があり、とても勉強になりました。
- 体験できたことで、より利用者さんやご家族へ進めやすくなると感じました。

2社の新しい介護用マットレスを紹介していただきました。紹介の後には実際に体験していただく時間を設け、参加者の皆さんは手触りや寝心地、ベッドの端に座った時の感覚などを確認されました。

今後の予定

- | | |
|------------|--|
| 12月
14日 | なぜ、むせる？
一知って安心 安全に食べるための基本の「き」ー |
| 1月
25日 | 快適な排泄ケアへのアプローチ
ー1人1人に最適なケアをー
予定は変更になる可能性があります。
詳しくはホームページ等でご確認ください。 |

新入職員紹介レポート



▲ 入社式の様子

本2階病棟の朝ミーティングに参加し、現場の雰囲気に触れました。



病棟でお出ししているお食事や嚥下食を体験

▶ 防災訓練では、消火栓や消火器の使い方を学びました。



2013年3月21日、平成25年度の新入職員34名が入職しました。約1週間の新人研修を経て、4月1日に各現場に配属となりました。

今回は、密度の濃かった新人研修の様子を少しだけ紹介するとともに、配属されて半年が経った職員さんたちの現在の心境を、インタビュー形式でお届けします！

入職した当初は仕事の流れや看護師として必要な技術などを覚えるのに精いっぱいでしたが、約6カ月たった今は仕事に慣れてきて、仕事の流れに沿いながら動けるようになってきたと感じています。

今後は周りをよく見て、今必要なことを考えながら動いていけるようになっていけたらと思います。



西2階 看護師
山中 知美

少しずつ慣れてきた部分もありますが、まだまだ緊張する場面が多くあります。配属当初に比べると少し落ち着いて患者さんの様子を見られるようになってきたり、担当の患者さんを持たせて頂き長期的な視点で考えるようになってきました。

今後は、もっと知識と経験を増やし、より良いリハビリができるようになるとともに、仕事の進め方についても考え段取り良く行えるようになりたいと思います。



本2階 言語聴覚士
大井 寿恵

半年経って自分のすべきことやできることが徐々に把握でき、入職時に比べると自ら行動できることが増えてきました。ミーティングの際など、チーム医療の一員として加わっていることが、半年前の自分と大きく異なっていると感じています。現場での患者さんとの関わりではとても緊張しますが、少しでも患者さんと一緒に笑顔になれるよう、ますます努力していこうと思っています。また、知識や技術を高めて、よりよいリハビリが提供できるセラピストを目指すと同時に、信頼と安心を感じていただけるような人間になっていこうと思っています。



本2階 理学療法士
芦澤 健太

この半年は毎日が目まぐるしく、必死になって先輩方についていくうちに瞬く間に過ぎてしまいました。

4月と比べるとできることも増えましたが、まだまだ失敗ばかりで不甲斐ない自分に落ち込むことも多くあります。しかし、いつまでも新人として甘えるわけにはいかないのので、自信を持って「任せて下さい」と言えるよう努力し、本当の栄養課の一員として認めて貰う事が今後の目標です。



栄養課 栄養士
小島 千春

病棟で活躍する看護師より、看護介護部の仕事や心構えについて聞きました！



患者さんの楽しい時も、悩んでいる時も、辛い時も、
そばに看護の存在があればと、
日々奮闘しています。

西館 2階 看護副主任 新迫 美恵子



患者さんをお世話しながらも、
ご家族がご自分の人生も楽しめるように
援助することを心がけています。

本館 2階 看護副主任・回復期リハ看護師 大村 絵美



たくさんの職種の人たちと連携しながら
チーム医療を提供できるところ、
看護師も積極的にリハビリに関わっている
ところが、西リハならではだと思います。

本館 2階 看護副主任 永見 茜



今年度、認定看護師となりました。
認定試験合格まで協力体制が整っており、
仕事と勉強の両立ができる部署です。

本館 1階 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 渡邊 賢一

看護部長よりメッセージ

私たちは、「信じ合い 明日を拓く」の理念のもとに、スタッフ同士互いを信頼して、患者さんから信頼される看護師として共に成長できるように日々努力しています。これからも、清く明るく元気に「笑顔」の生まれるリハビリテーション看護を実践していきます。

西広島リハビリテーション病院 看護介護部部長 杉本真理子





平成 25 年 5 月～ 1 0 月のイベント・ニュースなどをまとめました。

イベント・ニュース

脳卒中リハビリテーション看護
認定看護師資格取得

2013/6/23

職員の渡邊 賢一（本1階看護師）が、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の資格を取得しました。脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は、脳卒中患者さんの重篤化を予防するためのモニタリングやケア、活動の維持・促進のために早期リハビリテーション、生活再構築のための機能回復支援などを行うほか、看護職に対して指導やコンサルテーション（相談）も行う専門家です。

日本医療機能評価機構の
認定を取得

2013/8/2

本体審査と
付加機能審査
の認定を、
同時に取得し
ました。

▶ 詳しくは本誌
p.1 参照

病院見学

6/7 福山第一病院
7/12 八千代病院 等

2013/6/7・7/12

医療法人叙叙会福山
第一病院から病院見
学に来られました。
また、八千代病院か
らは韓国の看護学生
10 名が病院見学に
来られました。

▼ 病院見学
（福山第一病院）

▲ 病院見学（八千代病院）



出前リハビリ講座

2013/7/8

五日市観音西地区社
会福祉協議会主催の
集いでミュートレ
（ストレッチ体操に
神経学的音楽療法を
取り入れたトレーニ
ング）を行いました。



いつかいち商工祭 2013

2013/7/20

当院のブースでは、
無料で健康チェック
やストレッチ体操を
行いました。
およそ 20 人の方
にご参加いただき好
評をいただきました。



ふれあい看護体験

2013/7/31

4 名の学生がふれあい
看護体験に参加しま
した。病室を回りバ
イタルチェックの様
子を見たり、シーツ
交換を体験したりし
た後、現職の看護師
と談話を行いました。



言語聴覚の日イベント

2013/9/8

アステールプラザで行
われた言語聴覚の日
イベントでは「おい
しい心は元気の源」
をテーマに公開講座
や嚥下に関する無
料相談会などあり、
当院の下本（言語
聴覚士）が総合司
会を行いました。



院内研修

集合研修

褥瘡対策委員会研修

2013.5.20 褥瘡に対するチームアプローチ

新しい被覆材についての情報や、どのように職種間で連携していくかについて学びました。

情報管理研修

2013.5.30 組織における情報セキュリティ対策

インターネットや e メールによる攻撃の手口や危険性、対応方法について、動画で学びました。

2013.6.7 車いす勉強会

西リハで利用している車いすの種類と特徴、どのような方に適しているかなどを、リハスタッフが講義しました。



感染防止対策研修

2013.6.25 針刺しおよび血液・体液暴露防止

広島市立舟入病院の感染管理認定看護師である政本伸二先生より、針刺しおよび血液・体液曝露防止についての講義を行っていただきました。感染のリスクや対応など実例を基にお話いただきました。

災害対策研修

2013.7.8 土砂災害の危険性

広島県の土砂災害の危険と気を付けるべき点について、ビデオで学びました。



労働安全衛生委員会研修

2013.7.11 喫煙と受動喫煙のリスク

ファイザー株式会社より講師をお招きして、喫煙のリスクや禁煙を成功させる工夫などを講義していただきました。

疾患と障害と生活の理解勉強会①

2013.7.18 リハビリに必要な解剖の知識（骨）

人体に 206 前後あると言われる骨の分類と構造の基本知識について、佐藤医師による講義が行われました。

暴言・暴力対応研修

2013.8.20 不当要求に対する対応

佐伯警察署より講師をお招きして、不当要求に対する対応を学びました。

疾患と障害と生活の理解勉強会②

2013.8.28 水頭症について

水頭症の病態、分類、原因などについて、安東医師による講義が行われました。

医療安全対策研修

2013.9.3 インスリン療法について

インスリン療法の方法、低血糖の危険性について、薬剤師より講義を行いました。



疾患と障害と生活の理解勉強会③

2013.9.17 頭部 CT の見方について

実際の CT 画像で、どの部位に異変があるか、どのような症状が表れたか、前城医師による講義が行われました。



2013.9.24 中途職員研修会



感染、転倒転落、誤認、誤嚥・窒息、離院・離棟など、さまざまなリスクに対する冊和会としてのルールを 1 日の研修で学びました。

情報管理研修

2013.9.27 ソーシャルメディアによる情報流出

キャリアプランニングより講師をお招きして、さまざまなインターネットサービスによる個人情報流出の危険や気を付けるべき点について講義していただきました。

e ラーニング

※開始日を記載しています。開始日より約 1~2 週間の間で研修を行いました。

e ラーニング

2013.5.27 感染対策研修

流水・アルコールジェルでの手洗い方法と食中毒の危険について、動画で学びました。



e ラーニング

2013.7.29 とろみ茶提供の手順

とろみ茶を提供する際の患者・利用者確認の手順と、適切なとろみつけ方について、動画で学びました。

e ラーニング

2013.10.25 安全対策研修

ベッド柵の運用・ネームバンドの確認方法、とろみ茶提供手順について、冊和会のルールを学びました。

症例検討会

2013.7.4 回復期・生活期合同症例検討会 ⑤

2013.9.12 回復期・生活期合同症例検討会 ⑥

約 2 ヶ月に 1 回のペースで行なっています。さまざまな症例をもとに、入院中の対応と退院後のフォローをどのようにすべきか、検討しています。



※医師やスタッフの肩書き/氏名は掲載時点でのものであり、現在は変更している可能性があります。

専門雑誌・書籍掲載

- 2013.5.1 役割主義人事制度の導入～新人事制度の目的と効果～
医療アドミニストレーター 2013年5月号 第38号 (p.46-55)
吉野 高博 (財務課長・花の丘統括マネージャー)
- 2013.5 在宅における食事のポジショニング
三輪書店 図解 誤嚥を防ぐポジショニングと食事ケア
食事のはじめからおわりまで (p.68-108)
沖田 啓子 (言語聴覚士・リハビリ部部長)
- 2013.6.10 回復期リハビリテーションの現状と課題～地方病院②～
診断と治療社
リハビリテーションと地域連携・地域包括ケア (p.92-96)
岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.7.25 最新医療・介護保険施設探訪 西広島リハビリテーション病院
“患者さんのため”に常に先手を打つ病院
パラマウントベッド株式会社 けあ・ふる vol.76 SUMMER 2013
岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.7 脳卒中のリハビリテーション～急性期・回復期・生活期～
広島市医師会 南区医師会だより Dr.パル 2013.7 vol.37(p.4)
岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.7 脳卒中後上肢麻痺に対する低頻度反復性経頭蓋磁気刺激と
集中的作業療法の併用療法
～1,000人超の患者に対する治療経験
脳卒中 第35巻 第4号 別冊 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.7 回復期の現状と今後の行方—平成24年度実態調査結果から
回復期リハビリテーション 2013.7
第12巻第2号 (通巻45号) 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.8.15 臨床経験 CaseStudy
痙縮に対するボツリヌス毒素治療前後の定量的評価の試み
—筋硬度計とH波の比較
JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION
Vol.22 No.8 2013.8 佐藤 新介 (医師)
- 2013.8 特集：在宅を支える通所リハビリテーションの可能性
通所リハビリテーションにおける医師の役割と可能性
—短時間通所リハにおける医師のかかわり
三輪書店 地域リハビリテーション 8巻 8号
岡本 隆嗣 (医師・病院長) / 岡 光孝 (作業療法士・在宅リハマネージャ) /
松田 秀之 (理学療法士・主任) / 徳光 みなみ (音楽療法士) / 福岡 さおり (トレーナー)
- 2013.9.1 言語聴覚士 喜び手助け
中国新聞 (朝刊)
渡邊光子 (言語聴覚士・リハビリマネージャ) / 本田容子 (言語聴覚士)
- 2013.9.10 部門別マネジメント 外部評価部門
病院機能評価の新評価体系受審に向けた取り組み 第1回
プロセス評価で「質向上」に期待 受審は理念に基づく「挑戦」
最新医療経営 Phase3 2013.10 No.350 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.10.10 部門別マネジメント 外部評価部門
病院機能評価の新評価体系受審に向けた取り組み 第2回
機能種別、付加機能とともに積極的な姿勢で受審準備
最新医療経営 Phase3 2013.11 No.351
岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.10.15 リハビリテーションにおける安全管理
リハビリテーション専門病院における安全管理
JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION Vol.22 No.10
岡本 隆嗣 (病院長) / 渡邊光子 (言語聴覚士・リハビリマネージャ) /
白岡 幸子 (作業療法士・主任) / 福江 亮 (理学療法士・副主任) / 池田 響子 (管理栄養士) /
新家 光晴 (事業局長) / 安東 誠一 (医師・副院長)

- 2013.10 特集：診療報酬・介護保険同時改定
介護老人保健施設の立場から
医学書院 総合リハビリテーション vol.41 NO.10
吉野 高博 (花の丘統括マネージャー) / 松田 秀之 (理学療法士・主任) /
木村 典子 (医師) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長)

外部講演・学会発表

- 2013.5.24 第48回日本理学療法学会
～26 慢性期脳卒中後片麻痺患者に対する
低頻度反復性経頭蓋磁気刺激と集中的作業療法の併用療法が
下肢機能と歩行へ及ぼす影響
松下 信郎 (理学療法士・副主任) / 田中 直次郎 (理学療法士・リハビリマネージャ) /
山岡 まこと (理学療法士・副主任) / 福江 亮 (理学療法士・副主任) /
丸田 佳克 (理学療法士・副主任) / 藤井 靖晃 (理学療法士・副主任) /
橋本 陽平 (理学療法士・副主任) / 漆谷 直樹 (作業療法士・副主任) /
玉代 浩章 (作業療法士・副主任) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- ハンドヘルドダイナモメーターによる
等尺性股関節伸筋筋力測定の検査内信頼性先行研究による
異なる3つの測定方法の検討
有末 伊織 (理学療法士) / 竹内 貴文 (理学療法士) / 中本 舞 (理学療法士) /
松本 強 (理学療法士) / 田中直次郎 (理学療法士・リハビリマネージャ) /
岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.6.13 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会
～15 “Kaifukuki Rehabilitation Ward” in Japan
岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 痙縮に対するボツリヌス毒素治療前後の定量的評価の試み
佐藤 新介 (医師)
- 回復期リハ病棟入院料1へ経管栄養を要する状態で
転院した脳疾患嚥下障害患者の特徴
荒川 良三 (医師) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長) / 安東 誠一 (医師・副院長) /
佐藤 新介 (医師) / 岡田 昌信 (医師) / 瀧本 泰生 (医師) / 前城 朝英 (医師)
- 2013.6.27 広島市域居宅介護支援事業者協議会 総会 特別講演
回復期リハビリの現状と在宅リハビリの活用
岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.7.18 国際モダンホスピタルショー 2013 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
新評価体系での受審を終えて (リハビリテーション病院)
- 2013.7.20 瀬戸内痙縮フォーラム
講演2 「TMSとボツリヌス療法」 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.7.23 平成25年度 第6回 広島脳卒中地域連携の会 ミニレクチャー
生活期脳卒中患者のリハビリテーション 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.8.3 平成25年度 第12回医師研修会パネルディスカッション
回復期リハビリテーション病棟におけるチーム力向上に
ついて 医師の立場から 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.8.24 第4回 Stimulation Therapy 研究会
ランチョンセミナー
「これからの回復期リハビリテーション病棟の役割
～地域包括ケア時代に向かって～」 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.9.29 第28回全国デイ・ケア研究会 2013in 仙台
シンポジウム 「改めて問う デイ・ケアの役割と機能」
短時間通所リハビリテーションの必要性
岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2013.11.2 第55回全日本病院学会 in 埼玉
～3 地域医療を担う我ら～埼玉から日本へ発信～
診療報酬上の要件に基づく診療録内部監査の実施効果について
～チーム医療の質向上に繋がった事例～ 新家 光晴 (事業局長)
新評価体系の病院機能評価受審について
～本体審査と付加機能審査の同時受審～ 登能 淳 (事務)

- 広島中心部より車で約30分
- 五日市南口電停よりバスで約15分
- 楽々園電停よりバスで約10分



医療法人社団朋和会

西広島リハビリテーション病院

〒731-5143 広島市佐伯区三宅6丁目265番地

TEL (082)921-3230
FAX (082)921-3237
E-mail wel@welnet.jp
URL <http://www.welnet.jp/>

